

第18年度 事業報告のまとめ

事業の目標

「事業づくりから環境づくりに向けた地域連携事業が増えた一年」

「地域のすべての子どもたち」ということに立ち返り、主催事業だけではなく、子どもがすでにいる場に活動を届け直すことに取り組んできました。そのなかで、これまでの学校連携や事業連携の範囲も広がり、また、行政との連携の機会も増えてきました。多くは地域の実行委員会形式の事業に協力させていただく形がおおくなりましたが、これからさらにその実践が増えていくことが見えてきています。

しかし、これまで長年課題となっている、「山科醍醐こどものひろば」の思いやルール、ノウハウ、活かし方を伝えていく機会は、こどもフェスタを作り上げるなかでの交流以上にはもつことができず、積み残しとなりました。

以下は、前年度計画の軸に対しての報告となります。

①山科醍醐こどものひろばがだれもが活かせる方法の打ち出し

こどもフェスタが再開したことにより、各事業担当者が集まる機会も増え、これまでに比べて互いの事業について知るきっかけは増えました。一方で、理事会の拡大の機会などは設けたものの、これまでの情報の整理や打ち出しといった点では、いまだ改善が不足しています。

基盤整備の面では、各事業共通の会計のルールの整備を税理士法人の協力を得て、見直しが進みだしています。

②子どもが安心してふれあえる人がまちにあふれるアクション

これまでの小学校、中学校連携だけでなく、社会福祉法人同和園では複数の事業が連携をさせていただき、またくりのみ保育園でのごはん会など連携による事業が各地で増えてきています。また山科区内では子ども食堂など活動が増えてきていることから、相談や情報提供をする機会も増え、まち全体への関わりがより増えてきています。

③活動実施場所の拡大（開催エリアを意識）

特に醍醐地域において、区役所、社会福祉協議会などと連携した学区での活動づくりがスタートしています。醍醐西小学校区での子どもの居場所づくりへの協力をはじめ、今後、他の学区にひろがる芽がではじめています。

④ボランティア中心事業と専門性が必要な事業など各事業の連携

こどもフェスタが2回あったこともあり、顔の見える関係づくりは進んできています。しかしながら事業ごとのつよみや内容を事業間で共有し新しいアクションを生み出すほどの理解が浸透しているわけではないため、事業理解などの取り組みが必要です。

⑤地域連携（全事業）・訪問型活動（特に課題解決型事業）の充実

連携事業のひろがりにより、その活動の内容や質もよりニーズに応えることができはじめています。しかし、ひとつひとつの活動規模は小さいため、より多くの子どもと活動を作っていくようにスタッフ体制や財源など基盤整備が必要です。また不登校・ひきこもりの子どもの相談もあり小さくではありますが、サポートを行なうこともでき、この部分では今後より活動が増えていくことが期待されています。

⑥会員・ボランティアの交流強化（会員数を増やす。）

支えてくれている会員が増えていくよう周知活動などが必要ではありましたが、現在の会員との交流もフェスタ、らんらんおでかけひろば以外ではできていません。あらためて名簿の整理なども進めてきたので、これからあらたに交流や周知ができるように取り組む必要があります。

⑦全小学校区で子どもと出会う仕組みづくり

地域連携や各イベントなどへの協力を重ねたことにより、醍醐地域では各学区の連携できるネットワークの土壌ができはじめています。山科区役所でも今後の区役所での子ども・若者未来トーク、要保護児童対策地域協議会などでのつながりを活かしながら、さらに全学区に活動を浸透させていくことを目指していきます。

課題としては、法人内部では、これまでのノウハウ・ルール・価値の整理と共有、外部では活動や啓発などの周知が不十分であるため、あらためて「調べ」「まとめ」「伝える」ことを軸にそのための整理や伝え合う機会作りが必要です。

また、移転に向けた積み立ては進んでいますが、移転後の事業展開や物件探しは進んでいないため、議論が必要である。

法人全体 <総会ならびに会議報告>

【第 18 年度通常総会】

日時・場所 2016 年 7 月 18 日（月・祝） 13：00～16：00 本願寺山科別院 多目的会館

審議事項 第 1 号議案 議事録署名人選出の件
第 2 号議案 第 17 年度事業経過報告承認の件
第 3 号議案 第 17 年度事業活動決算承認の件
第 4 号議案 第 18 年度事業計画承認の件
第 5 号議案 第 18 年度事業活動予算承認の件
第 6 号議案 役員報酬承認の件
第 7 号議案 事務局長変更の件

【理事会】

理事 11 人、監事 2 人で構成。

会 場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」、山科青少年活動センターにて開催

開催日 2016 年 6 月 25 日(土) 11 月 12 日(土)

2017 年 4 月 23 日(日) 5 月 20 日(土)

【事務局会議】

法人事務に関して概ね月 1 回程実施し、業務遂行にあたった。

第18年度 各事業報告

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	<u>山科醍醐こどもの創作劇</u> 小学生から大人までの参加者が 創る創作劇の実施や、ワーク ショップを行う。 ※京都オムロン地域協力基金	2016/11/19、20	京都市東部 文化会館	4	地域の子どもと大人 400人	—	—
子どもが自 ら創る体験 活動事業	<u>Jr. キャンプ</u> 小学生3年～中学3年対象の2泊3 日のキャンプや年間を通じての野 外体験活動を行う。	通年	地域一円	5	地域の子ども 40人	450	458
	<u>こどもフェスタ</u> 当法人と山科商店会主催の子ども も主体の「祭典」を春と秋に実施し た。	9月19日 4月30日	本願寺山科別院 山科青少年活動 センター	150	地域の子どもと大人 1200人	—	427
	<u>わんぱくクラブ</u> 幼児・低学年の子ども達が、舞台 鑑賞や野外活動を実施する。	通年	地域一円	18	地域の子ども	850	461
	<u>山科醍醐こどもの創作劇</u> 小学生から大人までの参加者が 創る創作劇の実施や、ワーク ショップを行う。 ※京都オムロン地域協力基金	通年	京都市東部 文化会館・ 京都橋大学・社 会福祉法人同和 園他	10	地域の子どもと大人 400人	1491 (助成金150)	1374 (助成金150)
	<u>町たんけん</u> 地域を知り、その中の出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指す。山科かるた や、ガイドブックを普及させ、有効 活用できるように、活動した。 ※地域力再生助成金事業として 実施。寄付金募集も行った。	通年	地域一円	14人 (スタッフ・ ボランティア・ 講師)	小学生10名 ガイドブック配布 (新1年1000人ほ か1000名)	599	596 (助成金98)
子育てサ ポート事業	<u>あそびっこクラブ</u> 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポート活動。地域の保育所 やお寺を会場にして活動する。 同窓会として親子で集う場を設け る。	通年	地域一円	2	家族8組	202	62
	<u>げんきスポット0-3(ぜろさん)</u> 未就園児を持つ母と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット」にて実施する。屋根のある 公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット	11	地域の子どもと大人 のべ6000人	4,942 (委託金4562)	5356 (委託金4562 助成金243)
	<u>楽習サポートのびのび</u> 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がない 子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	46人	地域の子ども: のべ321人	—	—
	<u>子どもの貧困対策事業</u> 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がない 子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業	通年	地域一円	46人	のべ321人	6301 (助成金4700)	2187 (助成金2155)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
子育てサ ポート事業	ひとり親家庭等への生活・学習・ 居場所サポート事業(子どもの貧 困対策事業) 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託金事業	通年	地域一円	46人	子ども:のべ321人 保護者:のべ16人	補助金事業 6,473 (補助金4,900)	補助金事業 6,349 (補助金4,900)
	外部保育受入事業 外部団体からの保育依頼を受け いれる。	通年	京都一円	5	-	-	-
	ほっとタイムえんびつ 小学校放課後事業。 子どもたちの放課後の居場所作 り。	通年	小栗栖小学校・ 醍醐事務所	3	-	-	-
ボランティ アサポート 事業	ボランティア・研修部 ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なった。	通年	当法人事務所	4	-	-	-
	講師派遣・インターンシップ受入事 業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4	-	-	-
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	5	のべ60人	-	-
広報・出版 事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。 ※山科区社会福祉協議会助成事 業	季刊	-	2	1,000部を4回	42 (助成金30)	35
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	-	-	150部を12回	-	-
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	-	-	-	324	413
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の制作、頒布。	通年	-	-	-	600	747
	ホームページ 当法人におけるホームページの定 期的な更新情報の発信及び、基 本情報の公開を行う。	通年	-	-	-	-	-

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
ネットワーク づくり事業	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	-	-	-	-	-
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として山 科で子育てサークルや子育て支 援をしている諸団体との交流を行 う。子育て支援サロンを開催する。	6月 7月 10月 12月 2月	社会福祉協議会 他	11	のべ100	-	-
	遊びのアウトリーチ事業 小学校の放課後に屋外での遊び を実施した。	通年	地域小学校 地域一円	3	のべ665	150	150
	勤修中学校区 こどもの学びサ ポートプロジェクト 山科青少年活動センター、山科区 社会福祉協議会、勤修中学校等 連携事業	通年	勤修中学校区	3	-	-	-
	中3勉強会(おぐりす・だいご) 生活保護受給者中学生学習支援 プログラム。	通年	醍醐事務所・ト ハウス	24人	7人・4人	-	338
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	2	-	-	-
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。	通年	-	2	-	-	-
	らんらんおでかけひろば 会員間の交流を図るためのお出 かけ企画。	通年	-	2	のべ25人	72	3